

こんぶくろ池通信

NPO 法人こんぶくろ池自然の森
Tel: 04-7132-8800
Fax: 04-7132-8806
Email: info@konbukuroike.com
URL: <http://www.konbukuroike.com>

2019年1月

第57号

平成30年度アドバイザー会議報告

上田 真佐江

1. 日時 平成30年(2018年)11月20日(火) 10:00~12:30
2. 場所 管理棟前広場 及び ズミ生育地周辺
3. 参加者 柏市都市部公園緑政課: 2名
千葉大学: アドバイザー1名 大学院生4名
東京大学: アドバイザー3名 大学院生1名
アジア航測株式会社: 1名
NPO 法人こんぶくろ池自然の森: 15名
4. 概要 公園緑政課から配布された次第に沿って論議後、現地踏査にてズミ保全のために伐採および剪定すべき樹木を選定。会議開始前、千葉大学大学院生から研究成果報告「こんぶくろ池自然博物公園のトンボ池創造プロジェクトについて」。
5. 会議内容及び検討事項
 - ① 一号近隣公園公園における景観選好度調査について(東京大学アドバイザー)

一号近隣公園で、居住地域の都市公園における植生管理者と周辺住民の植生景観に対する選好度の差異について調査予定である。管理強度により景観が異なる。別途NPOでズミの保全について検討予定であり、保全のために手を入れる場所も研究対象として検討することを確認。
 - ② 植生調査及び管理計画について(公園緑政課)
 - 今年度貴重種の調査を行い、来年度以降に具体的な管理計画の策定に向けて検討中。アドバイザーと相談しながら協同したい。
 - 今年度の植物調査は、5年前にアドバイザー実施の10m×10mのコドラート調査に基づき実施しており、今後も5年おきで調査を続ける予定。

- アドバイザーから、土地の利用履歴を調査した上での詳細な管理計画を提示した研究論文があり、それを利用してほしい旨の提案があった。大切な資料としたい。
- 今後、管理計画の策定時には、アドバイザーの先生方にご教示をいただきながら進めたい。

③ NPO からの提案事項について

提案事項悦明 (NPO 法人こんぶくろ池自然の森)

計画的な萌芽更新を行っておらず、落葉広葉樹林の遷移が進んでいる。一方で、明るい湿性環境を好み、最終氷河期からの残存種と考えられるズミは現在、北地区 40 本、一号近隣公園 9 本生育しているが、わかっているところではここ 15 年間に北地区で 12 本が失われており、生育環境の保全や、自然な繁殖に適する環境の整備が必要な状況にある。しかし、会員数や年齢構成から、NPO としては湿性環境を含む落葉広葉樹林全域の保全に取り組むのは難しいのが現状である。

まずは、危機的状況にあるズミの保全を目的に、現地踏査を行ってズミ周辺部の伐採及び剪定候補木を選定していただきたい。また、現状への対応について先生方からアドバイスをいただきたい。

ズミの現状報告

- ズミの現状調査結果（樹高 幹径 結実状態 ひこばえの有無など）及びズミの位置図について説明。
- ズミの危機的状況についての説明。

アドバイス (アドバイザー)

- 大木化したクヌギ・コナラ等の萌芽更新は難しい。実生で更新してゆくのがよい。

追記

【現地踏査時】

- 大学でズミを実生から育成できるかもしれない。

【12月5日：アドバイザー会議当日に回れなかった一号近隣公園踏査時 公園緑政課 3 名立会】

- 保全で維持する落葉広葉樹林、遷移に任せる照葉樹林など多様な環境を整備してはどうか。
- 萌芽更新は皆伐でなく、実を落とす木と萌芽更新させる木の両方があるスタイルが適しているのではないか。このスタイルなら、実生からの更新が継続的に可能となる。
- スギ林について、林業目的ではないので間伐は必ずしも必要でない。オオタカなどが営巣するなら、あえてそのまま放置するのも一方法。

- 一号近隣公園のズミ群生地は移植適地である。理由は、周辺が既に整備済みで今後環境が大きく変わる可能性が低い。また古くからの湿性環境にあり、園路から隔絶された場所である。

道路計画についての説明（公園緑政課）

道路位置	道路方向	道路幅員	雨水管(mm)	工事予定期間
地金堀北	東西	4m	φ 1650	未定
北地区東端	南北	12m	φ 350-600	H31年~H33年
北地区南側	東西	6m	φ 1650	H31年~H33年

* 北地区南側、東西方向の道路計画地に一部沿った南西~東方向にある埋設管（φ800mm）撤去予定（H31年）。

現地踏査

- アドバイザーの先生方により、ズミ保全のための伐採及び剪定候補木を選定。

エリア	伐採候補木 (本)	剪定候補木 (本)	備考
地金堀周辺	20	4	地金堀南側は未踏査
弁天池周辺	2	0	
教習所脇周辺	2	0	
一号近隣公園	10	7	

- 選定された木について（公園緑政課）

今年度伐採予定：地金堀北 1 本、弁天池周辺 2 本、計 3 本
他の木については、できるだけ NPO で伐採及び剪定し、手に負えないものは 9 月までに公園緑政課に伝えてほしい。
市での対応を検討する（一号近隣公園の木は、柏市の維持管理業務の一環として処理）。

④ 井戸ポンプについて

- NPO：今年度弁天池が枯れたとの報告
- アドバイザー：対処としては、井戸で地下水を汲み上げること、テニスコート脇の調整池から水を引くことが考えられる。ただし、以前の議論では、調整池に外来種が多く水を引くことに賛否両論あった。将来的に北側の道路が整備されると乾燥化が進むことは確実なので、それまでに手を打ちたい。
- 公園緑政課：今後の課題としたい。

⑤ その他質疑応答に答えて（公園緑政課）

水路の橋や木柵、木道等が老朽化しているため、順次対応を検討する。

会員アンケート結果について

萩原 秀夫

昨年末の忘年会およびその後の活動日等で、会員の皆さんにアンケートをお配りし、1月6日時点で29名の会員（理事含む）から回答をいただきました。ご協力いただきありがとうございます。

みなさんからいただいた内容を一部ご報告させていただきます。

設問1. 引き続き現NPOにおいて、こんぶくろ池公園（1号近隣公園を除く）の維持管理を行うことは可能であり、会員として活動に参加したい。

1. そう思う
2. 縮小して行うべきだ（柏市との委託契約の見直しを行うべき）
3. NPOの存続が危ういのであれば解散もやむを得ない

この設問に関しては、ほぼ全ての会員が1と回答してくださいました。引き続き来年度も今年度同様に、こんぶくろ池公園（北部地域）の調査・保全活動および里山活動を皆で行なっていけるよう、柏市との委託契約を締結するべく進めて参りたいと思います。

設問2. 理事として力になっても良いと思う。

1. 是非やってみたい
2. 多少関心はある
3. やりたくない

1、2に印をつけてくださった方が10名いらっしゃいました。みなさんからのご厚意をありがたく頂戴し、理事もしくは各活動のリーダーとしてお力を貸していただけるよう個別にご相談させていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。また、理事はやりたくないという方の中にも、自由解答欄では前向きなご協力のご意見も頂戴しましたので、それぞれできる範囲で全員参加で取り組んでいければと思います。

設問3. その他ご意見等ありましたらご記入ください。

コメントを大きく分けると、組織に関するご意見と里山活動・調査活動に関するご意見がありましたので、以下抜粋してご紹介します。

組織についてのコメント

- 今までは決まったことを伝えられ、「え！知らなかった」とか「無理があるんじゃないの」とか「そこまでやらなくても」とか「私（達）にも何か言わせてよ！」等々そういう気持ちになることが多々ありました。みんながどう思っているか、どんな意見があるのか聞くということが大事ではないのかなと思います。理事さん達の負担が大変重いことは見ていて分かります。仕事分担してお願いすることはお願いする。もっとたくさんの手を集めて、まずは足元（目の前のこと）を第一にすることから始めて欲しいと思います。言われたことをするのではなく、自分はどんな事をしていこうか、各自で動けるようなそんな空気であって欲しい。
- 短・中期計画を策定して、アドバイザー会議等で検討され、活動の方向付けをしていただけると良いと思います。
- 今終わったら今までの努力が何だったのか？理事の皆さんもう一踏ん張りして頑張っていたらいいと思います。4ヶ月程前の市議会報告紙で、こんぶくろ池公園の質問に、「貴重な公園であり守っていきます」と市が答弁していました。年齢的にあまり自信がありませんが、頑張らしましょう。
- この森の保全についての基本の考えを皆で共有するべし。こんぶくろ池**自然の森** or こんぶくろ池**自然博物**公園の名前の意味する所は何かを会員の皆が考える必要ありと考えます。自由な雰囲気のある会であることは良いことではありますが、ともするとそれは独断専行を許す結果となります。会員相互のコミュニケーションが大事と考えます。

これまでは古橋さんというリーダーシップの下、我々もそれに乗っかっていけばよかったので楽でしたし、それで特別問題があるようなことはなかったと思います。しかし、一部の人が感じておられるように、突然決まったことだけを聞かされ困惑することが多かったのも事実かと思えます。

短・中期計画については、先日のアドバイザー会議を受け、新たなゾーニング案ができればそれに沿って策定したいと思います（萌芽更新計画や境界地の道路計画に合わせた公園整備方針など）。

調査班・里山班についてのコメント

- 合同活動日は調査班・里山班同一の作業をし、共通の認識を深めていきたい。合同活動日他、イベント開催時には名札をつけたらどうでしょうか。
- 4月以降里山班&野鳥観察会に参加してきたが、調査班の方々とは接点がなく、なかなか名前を覚えられない状況。里山班と調査班との接点をもっと増やせないものか。

- 里山・調査班の活動で執行部で相方よく話し合い、作業計画なり活動を進めていくと良いと思います。
- 貴重な公園でありいつまでもこの環境は残していくべきです。そのために必要な間伐等の手入れは確実にやっていく必要があります、里山班・調査班の連携を密にしてやっていければいいと思います。
- 合同活動日のあり方要検討。調査班は年間活動スケジュールが決まっているので、ある程度は自由に（仮に失敗しても）トライしてもいいのでは。
- 最近人柄の良い方が入会され心強く思います。その方々が心地よく活動できるよう、先輩会員は心を尽くして参りたいと思います。入会した当初は里山作業で共に汗を流し仲間意識を高揚してあげれば、長く会員として活動していただけるのではないかと思います。

里山班と調査班との壁を取り払いたいという意見が多くありました。特に新しく会員になられた方々は強い違和感を感じておられるように思いました。里山班、調査班という仕切りの是非、活動日についても再検討すべきと考えています。

年末の里山活動においてワタラセツリフネエリアの草刈りを行いました。調査班の方々からの的確に指示をいただければ作業はできます。来年度からは調査も里山もバラバラの計画を立てるのではなく、会全体が一つの年間スケジュールで動けば自ずといつまでに何をやるのかも分かります。もちろん自然相手ですから計画より1～2週間ずれることはあると思いますが、そこはリーダーがうまく調整し、皆で協力していければと思います。

以上貴重なご意見をありがとうございました。

あらためてNPOの定款より、「第2章 目的及び事業」について下記に抜粋します。我々の活動はボランティアであり、無理せず楽しく、各人が自分のペースで取り組んでいくことをモットーとしていますが、法人組織である以上、その目的と事業内容が会員共通の拠り所となります。

(目的)

第3条 この法人は市民が中心となり、地域の様々な主体と連携して、柏市北西部に広がる千葉県内でも類のない湧水と、それによって維持されている湿地性の多様な動植物の生態系を擁するこんぶくろ池と、その周辺林の自然環境の保全・育成活動を行い、貴重な湧水と緑の資源を育むとともに、森と人の営みを活かしたコミュニティづくりに関する事業を行い、住みよい町づくりの推進を図ることを目的とする。

(特定非営利活動の種類)

第4条 この法人は、第3条の目的を達成するため、次に掲げる種類の特定非営利活動を行う。

- (1) まちづくりの推進を図る活動
 - (2) 環境の保全を図る活動
 - (3) 子どもの健全育成を図る活動
 - (4) 前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動
- (事業)

第5条 この法人は、第3条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 特定非営利活動に係る事業
 - ① こんぶくろ池とその周辺林の自然環境を保全育成・管理する里山事業
 - ② こんぶくろ池とその周辺林の環境保全育成に関わる調査・研究・情報収集事業
 - ③ こんぶくろ池周辺の歴史的・文化的景観の保全活動
 - ④ 自然環境の大切さ等を理解出来る環境教育などの啓発活動
 - ⑤ 前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動

今年からはズミの保全・再生プロジェクトもスタートいたします。里山班・調査班の枠にとらわれず、皆で協力して事業に取り組んでいきたいと思っております。

1 月理事会

2019年1月6日（日）10:00～12:00

出席理事：石渡、市川、上田、岡本、萩原

事務局：工藤、オブザーバー：森田

1. 審議検討事項

- ① ズミ保全・再生計画
 - 森田さんより資料に基づき詳細説明。一号近隣公園ズミについての提案もあったが、北部地区に資源を集中することを確認し、計画を承認。
- ② 次期役員・事務局員

- アンケートの結果を報告。理事候補、事務局員候補に対し今後依頼して年度末業務にも参加を依頼する。
 - 理事以外でも活動できることとして、現場リーダーも含め依頼する。
 - 現在の理事、事務局の意向確認（重任、退任、保留）
- ③ 今後の執行見込み及び平成 31 年度実施計画
- 12/28 市役所との懇談で、来年度は H30 年度相当の予算となる見込み。これを踏まえて計画を立案。
 - H30 年度委託費相当は完了し、繰越金ありの見込み。事務処理は役員、事務局、今後の候補も含め役割を分担し、年度末機種業務を行う。
- ④ H31 年度管理当番
- H30 年度のスタイルで入会、退会、実績を考慮し作成。
- ⑤ 総会資料作成、柏市への H30 年度報告書（3/31 期限）等
- 事務処理は役員、事務局、今後の候補も含め役割を分担し、年度末期首業務を行う。
 - H29 年度報告書を参考に、実施計画では工程表形式を作成。
- ⑥ トンボ池井戸掘り、移植樹木
- 地下水位への影響懸念および移植樹木の管理は緑政課にて再考を依頼（岡本 12/28）
- ⑦ カブトムシの養育場整備
- 養育場の是非、場所及び仕様については、改めて次回の理事会にて再検討。
- ⑧ 公園開園時間の変更
- H31 年度より夏時間（4 月～10 月）10:00～17:00、冬時間（11 月～3 月）10:00～16:00 に変更。

理事会の議事録は管理棟のファイルにて確認できます。

新入会員紹介 小川 幸夫さん



日頃散歩させてもらっています。気持ちよいこの森の保全活動に参加させてもらいたく、よろしく願いいたします。

趣味：昆虫観察

貢献できそうなこと：造園・園芸、調査

取り組んでみたいこと：蜂やカエルの調査